

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成30年10月～12月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年10月～12月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				前期（平成30年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				今期（平成30年10月～12月期）と比べた 来期（平成31年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	38.3	26.7	35.0	3.3	51.7	23.3	25.0	26.7	25.0	26.7	48.3	△ 23.3
2 採算	21.7	56.7	21.7	0.0	28.3	53.3	18.3	10.0	13.3	48.3	38.3	△ 25.0
3 仕入単価	33.3	60.0	6.7	26.7	26.7	66.7	6.7	20.0	30.0	60.0	10.0	20.0
4 従業員数					5.0	91.7	3.3	1.7	6.7	86.7	6.7	0.0
5 資金繰り					11.9	78.0	10.2	1.7	8.3	78.3	13.3	△ 5.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		26.7	48.3	25.0		1.7		45.0	41.7		13.3	31.7		3.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	24.6	3.5	5.3	33.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	12.3	19.3	5.3	36.8
2 大企業進出による競争激化	5.3	7.0	7.0	19.3	9 取引条件の悪化	0.0	1.8	3.5	5.3
3 製品・商品単価の下落	3.5	1.8	5.3	10.5	10 事業資金の確保難	7.0	5.3	7.0	19.3
4 原材料高及び不足	7.0	10.5	7.0	24.6	11 需要の停滞	10.5	12.3	8.8	31.6
5 在庫製品・商品の過剰	1.8	0.0	0.0	1.8	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	1.8	1.8
6 人手不足	17.5	8.8	7.0	33.3	13 その他	7.0	5.3	1.8	14.0
7 人件費の増加	0.0	7.0	8.8	15.8	無回答	3.5	17.5	31.6	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年10月～12月期)の状況				前期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(平成30年10月～12月期)の状況				今期(平成30年10月～12月期)と比べた 来期(平成31年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	22.2	44.4	△ 11.1	66.7	11.1	22.2	44.4	44.4	11.1	44.4	0.0
2 採算	11.1	66.7	22.2	△ 11.1	44.4	44.4	11.1	33.3	33.3	22.2	44.4	△ 11.1
3 仕入単価	66.7	33.3	0.0	66.7	44.4	55.6	0.0	44.4	44.4	55.6	0.0	44.4
4 従業員数					11.1	88.9	0.0	11.1	11.1	88.9	0.0	11.1
5 資金繰り					11.1	88.9	0.0	11.1	11.1	66.7	22.2	△ 11.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.1	44.4	44.4		△ 33.3		33.3	55.6		11.1	22.2		11.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.3	11.1	11.1	55.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	11.1	11.1	22.2
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	11.1	0.0	0.0	11.1	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	11.1	11.1
4 原材料高及び不足	0.0	11.1	22.2	33.3	11 需要の停滞	22.2	22.2	0.0	44.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	33.3	0.0	0.0	33.3	13 その他	0.0	11.1	11.1	22.2
7 人件費の増加	0.0	22.2	11.1	33.3	無回答	0.0	11.1	22.2	-

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 売上の減少が外部環境の変化によるものが大きく、歯止めがきかなくなっている。
- ・ 小売店などの廃業があるため、新規受注先を検討している。
- ・ 求人を行うが、まったく引き合いがない。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年10月～12月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				前期（平成30年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				今期（平成30年10月～12月期）と比べた 来期（平成31年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	57.1	42.9	0.0	57.1	71.4	0.0	28.6	42.9	0.0	42.9	57.1	△ 57.1
2 採算	42.9	57.1	0.0	42.9	28.6	57.1	14.3	14.3	0.0	42.9	57.1	△ 57.1
3 仕入単価	14.3	85.7	0.0	14.3	14.3	85.7	0.0	14.3	42.9	57.1	0.0	42.9
4 従業員数					14.3	85.7	0.0	14.3	14.3	85.7	0.0	14.3
5 資金繰り					42.9	57.1	0.0	42.9	0.0	85.7	14.3	△ 14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		85.7	14.3	0.0		85.7		85.7	14.3		0.0	85.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	14.3	0.0	0.0	14.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	14.3	14.3	28.6
2 大企業進出による競争激化	14.3	0.0	0.0	14.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	14.3	14.3	10 事業資金の確保難	0.0	14.3	14.3	28.6
4 原材料高及び不足	0.0	28.6	0.0	28.6	11 需要の停滞	14.3	0.0	0.0	14.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	42.9	28.6	14.3	85.7	13 その他	14.3	0.0	0.0	14.3
7 人件費の増加	0.0	0.0	28.6	28.6	無回答	0.0	14.3	14.3	-

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 受注は確保できているが、人手不足により受注を受けられない。
- ・ 10月の消費税の引き上げに対する受注難を懸念している。
- ・ 12月の完成工事が多いため売上は増加するが、来期は完成物件が少なく売上が減少する。

《卸・小売業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年10月～12月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				前期（平成30年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				今期（平成30年10月～12月期）と比べた 来期（平成31年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	38.9	16.7	44.4	△ 5.6	44.4	22.2	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	△ 11.1
2 採算	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	22.2	55.6	22.2	0.0	16.7	50.0	33.3	△ 16.7
3 仕入単価	16.7	61.1	22.2	△ 5.6	16.7	72.2	11.1	5.6	33.3	50.0	16.7	16.7
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	94.4	5.6	△ 5.6	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	11.8	70.6	17.6	△ 5.9	5.6	83.3	11.1	△ 5.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	61.1	22.2		-5.6		33.3	55.6		11.1	22.2		5.6

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	27.8	5.6	5.6	38.9	8 設備店舗の狭小・老朽化	11.1	27.8	0.0	38.9
2 大企業進出による競争激化	5.6	11.1	5.6	22.2	9 取引条件の悪化	0.0	5.6	11.1	16.7
3 製品・商品単価の下落	5.6	5.6	11.1	22.2	10 事業資金の確保難	16.7	5.6	11.1	33.3
4 原材料高及び不足	11.1	0.0	0.0	11.1	11 需要の停滞	11.1	16.7	5.6	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	5.6	5.6
6 人手不足	5.6	5.6	16.7	27.8	13 その他	5.6	0.0	0.0	5.6
7 人件費の増加	0.0	0.0	5.6	5.6	無回答	0.0	16.7	22.2	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 消費税の引き上げの夏まで需要が停滞する予測であるが、夏以降には需要が活発化され、商品の確保が懸念される。
- ・ インターネットやSNSを活用した販売戦略を行い、売上の確保を行っている。
- ・ ネット販売が盛んになることで、専門店の価値が下がっているため、新たな販売戦略を検討する必要がある。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年10月～12月期)と比べた 今期(平成30年10月～12月期)の状況				前期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(平成30年10月～12月期)の状況				今期(平成30年10月～12月期)と比べた 来期(平成31年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	28.6	42.9	28.6	0.0	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	35.7	△ 7.1
2 採算	28.6	57.1	14.3	14.3	28.6	57.1	14.3	14.3	14.3	57.1	28.6	△ 14.3
3 仕入単価	21.4	78.6	0.0	21.4	21.4	71.4	7.1	14.3	14.3	78.6	7.1	7.1
4 従業員数					7.1	92.9	0.0	7.1	14.3	71.4	14.3	0.0
5 資金繰り					7.1	85.7	7.1	0.0	21.4	71.4	7.1	14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		14.3	57.1	28.6		-14.3		42.9	35.7		21.4	21.4		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	0.0	0.0	25.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	8.3	16.7	8.3	33.3
2 大企業進出による競争激化	0.0	16.7	16.7	33.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	8.3	0.0	0.0	8.3
4 原材料高及び不足	0.0	8.3	0.0	8.3	11 需要の停滞	8.3	0.0	16.7	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	8.3	0.0	0.0	8.3	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	8.3	8.3	0.0	16.7	13 その他	16.7	16.7	0.0	33.3
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	16.7	33.3	58.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 全国的に美容専門学校は定員割れをしており、県内の専門学校卒業生も大幅な県外流出となっており、人材確保が困難となっている。
- ・ 近隣へ大型店（チェーン店）が出店し、価格競争には勝てない。
- ・ 年末の休日の関係で来店に偏りがあり、繁忙日と閑散日の差が激しかった。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年10月～12月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				前期（平成30年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年10月～12月期）の状況				今期（平成30年10月～12月期）と比べた 来期（平成31年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.7	16.7	41.7	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	8.3	25.0	66.7	△ 58.3
2 採 算	16.7	58.3	25.0	△ 8.3	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	58.3	41.7	△ 41.7
3 仕 入 単 価	58.3	41.7	0.0	58.3	41.7	50.0	8.3	33.3	25.0	58.3	16.7	8.3
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	91.7	8.3	△ 8.3	0.0	83.3	16.7	△ 16.7
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	83.3	16.7	△ 16.7	0.0	83.3	16.7	△ 16.7

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		33.3	41.7	25.0		8.3		50.0	33.3		16.7	33.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	18.2	0.0	9.1	27.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	36.4	18.2	0.0	54.5
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	9.1	0.0	9.1	18.2	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	9.1	0.0	9.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	18.2	18.2	18.2	54.5	11 需 要 の 停 滞	0.0	18.2	18.2	36.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	18.2	9.1	0.0	27.3	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	18.2	9.1	27.3	無 回 答	0.0	9.1	36.4	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 忘年会など宴会のシーズンであったため売上が前期より増加した。
- ・ 来期は天候の悪化により顧客の減少を懸念する。
- ・ 店舗の老朽・狭小や設備の老朽化しており、新設したいができない状況にある。